

# ガンバリ中央大学！ —活躍する陸上競技部



## 世界ジュニア男子200mで優勝 飯塚選手、日本男子短距離初の金メダル

2010年7月19日から25日までの7日間、カナダのモンクトンで開催された第13回世界ジュニア陸上競技選手権大会において、飯塚翔太選手（法1）が男子200mで優勝し、金メダルを獲得しました。

なお、世界ジュニア陸上競技選手権大会における男子短距離種目での金メダル獲得は、日本陸上競技史上、初の快挙です。

写真は関東インカレの4×100mリレー時

写真提供：中大スポーツ新聞部

## 関東インカレ 男子4×100mリレー 日本学生新記録を樹立し優勝

2010年5月に行われた第89回関東学生陸上競技対校選手権大会男子4×100mリレーで、中央大学が38秒54の日本学生新記録を樹立して優勝しました。

この38秒54という記録は、日本代表などを除き、単独チームとしては日本最高記録となるもので、2008年の北京オリンピック、2009年のベルリン世界陸上選手権に当てはめると、それぞれ5位、6位に相当する好記録です。

第1走者 畠山純選手(総2)      第2走者 川面聡太選手(法3)  
第3走者 河合元紀選手(文3)      第4走者 飯塚翔太選手(法1)

男子4×100mリレーメンバー（写真提供：陸上競技部）



## 日本インカレ史上初 4×400mリレー 男女ともに中央大学が優勝

2010年9月開催の日本学生陸上競技対校選手権大会4×400mリレーで、男子は23年ぶり、女子は13年ぶりに本学が優勝しました。この種目で男女同一大学が優勝するのは大会史上初の快挙となりました。

<女子>

第1走者 利根川由佳選手(商4)      第2走者 矢野美幸選手(文3)  
第3走者 清水佳奈選手(文3)      第4走者 田子雅選手(法4)

<男子>

第1走者 鬼塚祐志選手(法2)      第2走者 木村淳選手(法1)  
第3走者 近藤敦嗣選手(法4)      第4走者 山下貴大選手(経4)



女子4×400mリレー最終走者の田子雅選手（法4）  
（写真提供：中大スポーツ新聞部）



Cマークを作る男子4×400mリレーメンバー  
（写真提供：中大スポーツ新聞部）

※学年はすべて2010年度のものとなります。



# 中大スポーツ

CHUDAI SPORTS

〒100-8302 東京都千代田区千代田1-3-10 (千代田駅南口徒歩1分) TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112



## 卓球混合ダブルス 全日本制覇 瀬山・坂本組

◆天皇杯・皇后杯 全日本卓球選手権大会 (2011・1・18～23 東京体育館)

男子シングルス4回戦敗退の瀬山辰男(経)。女子シングルスで小学生に敗北した坂本夕佳(文4)。国内最高の大会である今大会で結果を残せなかった2人が挑んだ最後の戦いが混合ダブルスである。

前評判を覆し続け遂に決勝の台上へとたどり着いた。対するは日の丸を背負い世界を相手に戦う松平健太(早大)・石川佳純(ミキハウスJSC)組。「ここまで来たら相手が誰であろうが優勝したい」(瀬山)と意気込んだ。序盤個人での実力差は歴然としており、出だしは瀬山のドライブがアウトとなり3点リードを許す展開となる。しかし瀬山の冷静な対応が相手のミスを誘い5連続得点を挙げセットを先取。

続くセットでは坂本のサービスエースが飛び出すと瀬山が得意とするバックハンド

も次々と決まった。最終セットも勢いは止まらず、坂本の切れのある攻撃と瀬山の早い段階で仕掛けるロングドライブのコンビが見事に合致した。リードを1度も許すことなくセットを奪い、日本代表相手に中大ペアが完全勝利。

「個人では絶対勝てない相手」(瀬山)であるがダブルスになれば、力は2倍、3倍と増していき勝機が見えてくる。まさにダブルスのだいたいを味を体現した二人は「来年もまた出場したい」(坂本)と最高の舞台での再開を誓った。

▶大会結果▶混合ダブルス①瀬山・坂本組

▶瀬山辰男プロフィール せやま・たつお

昭和63年5月2日生 静岡県出身 青森山田高卒 168cm・58kg B型

▶坂本夕佳プロフィール さかもと・ゆか

平成元年6月14日生 岡山県出身 就実高卒 155cm A型

## 教養テレビ番組

# 知の回廊

### 2010年度番組タイトル一覧

<http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/kairou/>

第74回 10月

「変貌する世界経済とAPEC  
- 日本に期待される役割 -」



長谷川 聡哲  
経済学部教授

第75回 11月

「人にやさしい情報社会を  
目指して」



加藤 俊一  
理工学部教授

第76回 12月

「コレラ・パンデミック  
～疫病による  
英国都市の  
変容」



見市 雅俊  
文学部教授

第77回 1月

「フェアトレードを通じた  
共生社会の  
創造」



日高 克平  
商学部教授

第78回 2月

「ギリシアから日本に来た  
神々」



田辺 勝美  
総合政策学部教授

第79回 3月

「やわらかすぎる日本語  
～日本語の光と  
影～」



加賀野井 秀一  
理工学部教授